

令和7年度

街路整備事業

中島線シェルター整備工事

仕様書

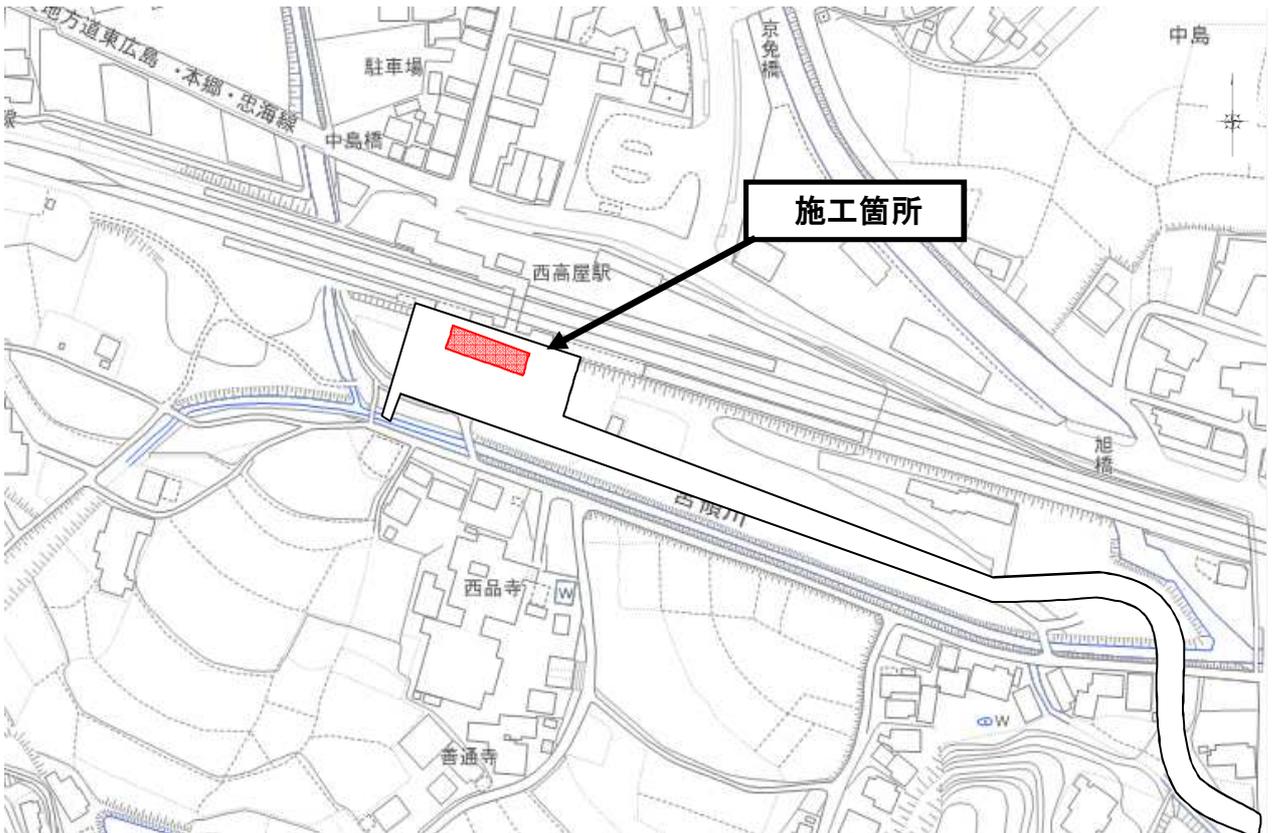
施 工 場 所 東広島市高屋町中島

中島線シェルター整備工事 位置図

広域



詳細



特記仕様書

(中島線シェルター整備工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 履行報告
5. 官公庁等への手続き等
6. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休2日適用工事等 週休2日
11. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)
 - (1) 駅前広場の通行について
 - (2) 駅前広場施設の保全について

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。

3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。
---	---	---	---	------	---	--------

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

5. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

6. 工事中情報共有システム(発注者指定型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(発注者指定型)である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任（監理）技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とす

るものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあつては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要

する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材料名	摘要
製作資材	シエルター	
電気資材	照明灯	

その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
製作資材	シェルター	
電気資材	照明灯	
その他	レディーミクストコンクリート	

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から30日間(1人/日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、4m³(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する可能性がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

建設発生土

(名称) 有限会社広剛産業福富残土処分場1
(所在地) 東広島市福富町上戸野大井出1460-1
(運搬距離) 12.5 km

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 11.6 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 11.6 k m を見込んでいる。

(1) 駅前広場の通行について

駅前広場については供用しながら工事を行うこと。工事期間中の安全管理について歩行者や通行車両に配慮すること。仮設計画については事前に施工計画で提出すること。

(2) 駅前広場施設の保全について

工事施工にあたっては、既存駅前広場の施設を傷めないように施工に努めること。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。

なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路改良		式	1	レベル1
施設工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
シェルター基礎工		式	1	レベル3
コンクリート		m3	1	レベル4
型枠		式	1	レベル4
シェルター設置工		式	1	レベル3
駅前シェルター		式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
舗装版破碎		m2	6	レベル4
ブロック舗装撤去工		式	1	レベル3
インターロッキングブロック撤去		m2	21	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	アス殻	m3	0.2	レベル4
殻運搬	コン殻	m3	0.1	レベル4
殻処分	アス殻	t	0.4	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻処分	コン殻	t	0.3	レベル4
舗装		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン t=3cm	m2	6	レベル4
ブロック舗装工		式	1	レベル3
フィルター層	t=5cm	m2	19	レベル4
下層路盤(歩道部)	t=10cm RC-30	m2	19	レベル4
インターロッキングブロック舗装	t=6cm インターロッキング 流用	m2	19	レベル4
インターロッキングブロック舗装	t=6cm 視覚障害者誘導ブロック	m2	1	レベル4
インターロッキングブロック舗装	t=6cm 透水性インターロッキングブロック 150×300	m2	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
仮設足場工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	30	レベル4
施設整備		式	1	レベル1
電気設備工		式	1	レベル2
照明設備工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
照明灯設置	SA 器具光束 153(lm)	基	4	レベル4
電線管路工		式	1	レベル3
CVケーブル	CV3.5sq-2C	m	65	レベル4
IV電線	IV 2.0sq	m	65	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
資材運搬費		t	4	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				

膜構造建築物 設計概要書

設計荷重	地震荷重	標準層せん断力係数 $C_i = 0.3$	
	積雪荷重	長期	- N/m ² 垂直積雪量 30 cm
		短期	600 N/m ² 単位重量 20 N/(m ² ・cm)
風荷重	速度圧 $q = 789$ N/m ² 風速 $V_0 = 32$ m/s 地表面粗度区分 I II III IV		

鉄骨工事	構造用鋼材種類・材質	一般構造用鋼材 <input checked="" type="radio"/> SS400 [鋼板・平鋼・形鋼] <input checked="" type="radio"/> STK400 <input type="radio"/> STKR400 <input type="radio"/> SSC400 [軽量形鋼] <input type="radio"/> その他 () 建築構造用鋼材 <input type="radio"/> SN400A <input checked="" type="radio"/> SN400B <input type="radio"/> SN400C <input type="radio"/> その他 () 溶接構造用鋼材 <input type="radio"/> SM490A <input type="radio"/> その他 ()
	高力ボルト	<input type="radio"/> F10T (S10T) <input checked="" type="radio"/> F8T (溶融亜鉛メッキ高力ボルト) *摩擦接合では鉄骨の摩擦面の処理に注意する。摩擦面のすべり係数を0.45以上(溶融亜鉛メッキされた鉄骨の場合は0.40以上)確保するため、「プラスト処理・特殊塗料塗布、他」を行なう。
	中ボルト	<input type="radio"/> JIS規格品 <input type="radio"/> その他 ()
	アンカーボルト	<input checked="" type="radio"/> SNR400B <input type="radio"/> SNR490B <input type="radio"/> その他 ()
	膜定着ボルト取り付け方法	<input type="radio"/> 溶接仕様 <input checked="" type="radio"/> 膜定着ボルト <input type="radio"/> 現場取付け仕様 <input type="radio"/> その他

溶接	隣肉溶接のサイズ (単位: mm)	<table border="1"> <tr><td>t</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>S</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>t</td><td>19</td><td>22</td><td>25</td><td>28</td><td>30</td><td>32</td><td>36</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>S</td><td>11</td><td>13</td><td>15</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>21</td><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	S	3	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12			t	19	22	25	28	30	32	36	40						S	11	13	15	17	18	19	21	24					
	t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																																												
S	3	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12																																															
t	19	22	25	28	30	32	36	40																																																		
S	11	13	15	17	18	19	21	24																																																		
図																																																										

表面処理	<溶融亜鉛めっき仕様>			
	種別	表面処理方法	板厚 (mm)	JIS規格
	A種	溶融亜鉛めっき	6以上	規格番号: HDZT 77
	B種		3.2以上	規格名称: 溶融亜鉛めっき
C種	1.6以上		記号又は等級: HDZT 63, HDZT 49	
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 令和4年版 より抜粋)				

塗装工事	溶融亜鉛メッキの上、2液形ポリウレタンエナメル塗り				
	工程	塗料名	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	施工区分
	1 素地調整	リン酸塩 もしくは スイープブラスト			工場
	2 下塗り (1回目)	変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109	0.14	吹付・はけ	
	3 下塗り (2回目)	エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (M10)	0.14	吹付・はけ	現場
4 中塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)	0.14	はけ・吹付		
5 上塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料3級)	0.10	はけ・吹付		
※現場損傷部 素地調整	2種ケレン (サンダー等) / ISO St 3				
下塗り (1,2回目)	常温亜鉛メッキ (上塗り対応エポキシ系)	0.25		(×2回)	
下塗り (3回目)	変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109	0.14			
注意事項	上塗り塗料のJIS規格 (相当品) は 光沢品を規定している為、艶調整を行う場合はJIS規格 (相当品) に該当しなくなります。				
各部塗装範囲					

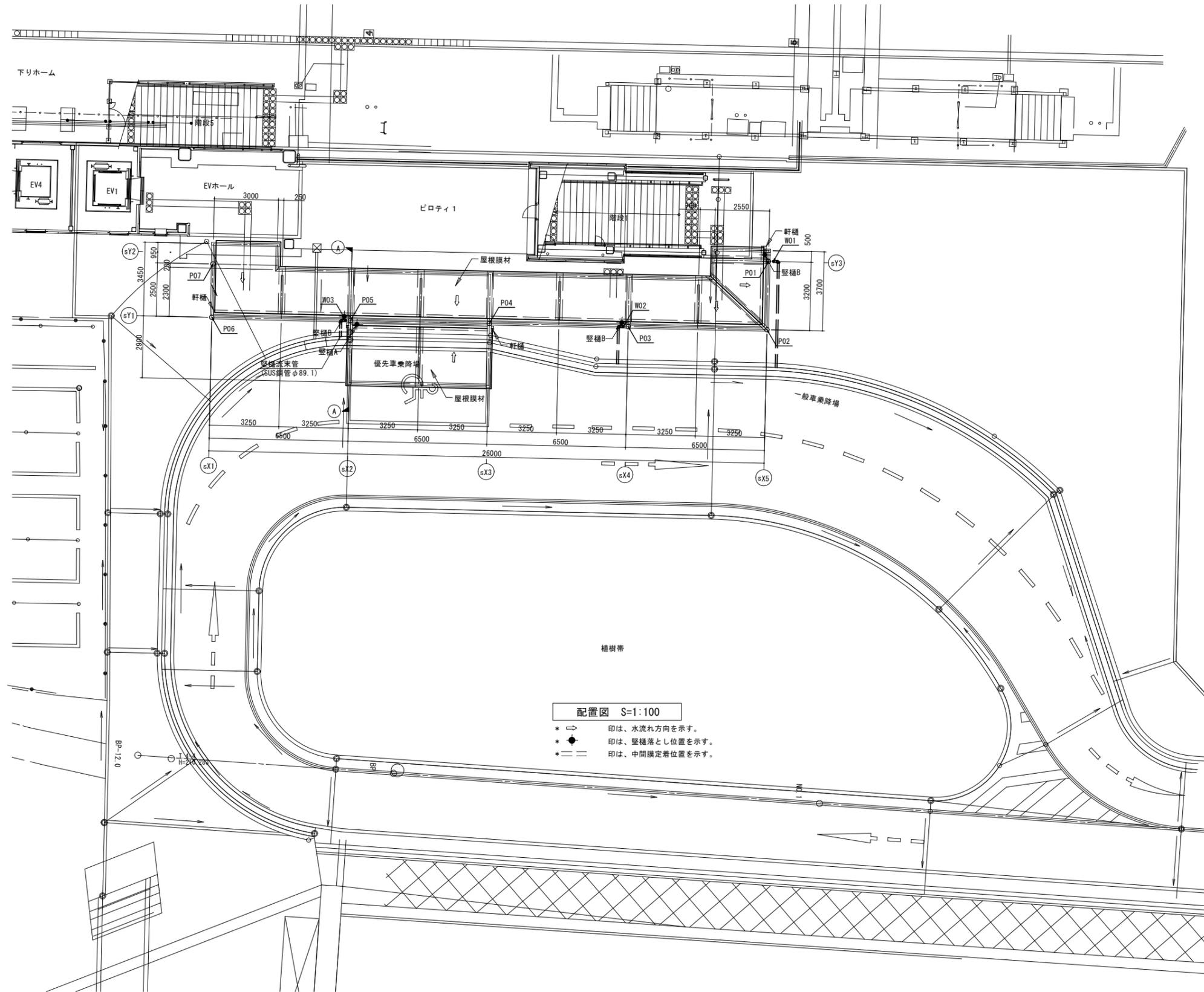
機工事	材質	<input type="radio"/> 塩ビ軒樋 <input type="radio"/> 溶融亜鉛メッキ <input type="radio"/> アルミ <input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> SUS	アクリル焼付塗装
	軒樋	PL-1.5t 加工	
	材質	<input type="radio"/> 塩ビ縦樋 <input type="radio"/> 溶融亜鉛メッキ <input type="radio"/> アルミ <input type="radio"/> 無し <input checked="" type="radio"/> SUS	アクリル焼付塗装
	縦樋	P-60.5φx1.5t P-76.3φx1.5t	
図	縦樋支持プレート形状 		

膜工事	膜材料	国土交通省告示第666号第二、二の表の(一)に適合する膜材料: 認定番号 MMEM-0081-1 (建築基準法第37条第二号) NM-4723 (建築基準法第2条第九号 不燃材料) AP-450 (厚さ0.8mm) 酸化チタン光触媒微粒子含有 (両面) 同等品 ・ 膜構造の建築物の品質管理: 膜構造建築物の品質管理については、令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜構造建築物品質管理規定」に従うこと ・ 膜材料: 膜材料は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜材料等品質基準」の合致するものであること ・ 一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること ・ 膜体加工は一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場登録制度により、膜構造に係る高度な加工技術及び高度な品質管理能力を有する膜体加工認定工場として認定を受け、同協会の(膜体加工工場認定簿(上級グレード))に記載された工場(A種膜材料)の品質管理体制で行うこと ・ 膜体加工は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜体加工指針(膜材料・テント倉庫膜材料)」に従うこと ・ 膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること ・ 酸化チタン光触媒の効果は、光触媒工業会のPIAJ認証マーク取得商品、または同等以上の性能を有すること
	膜材溶着部	国土交通省告示第666号第二、五、一の二に規定する接合とする FEPフィルムを介した熱溶着。 溶着巾 <input checked="" type="radio"/> 75mm <input type="radio"/> 50mm <input type="radio"/> 37.5mm

膜工事	膜定着部	国土交通省告示第666号第三、一のイ(1)に規定する定着方法とする 1. 膜定着プレート * 膜材は、膜定着プレート又はファスナーでクランプする。 膜定着プレート: アルミ押し出し型材又はアルミプレート (A-6061S-T6) アルマイト9μ、クリア7μ仕上 ファスナー: アルミ押し出し型材 (A-6061S-T6) アルマイト9μ、クリア7μ仕上
	膜定着ボルト	ボルト径 <input checked="" type="radio"/> M12 <input checked="" type="radio"/> M10 材質 <input type="radio"/> SUS304 <input checked="" type="radio"/> SUS316 <input type="radio"/> 溶融亜鉛メッキ <input type="radio"/> ユニクロメッキ

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事
図面名	設計概要書 (南口駅前広場)
作成年月日	令和 6年 5月
縮尺	- 図面番号 1 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント
事業者名	東 広 島 市

(参考図)



施工座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
P01	-172203.315	57114.121	
P02	-172206.378	57113.195	
P03	-172204.497	57106.973	
P04	-172202.616	57100.751	
P05	-172200.735	57094.529	
P06	-172198.855	57088.307	
P07	-172196.462	57089.030	
W01	-172203.379	57114.334	
W02	-172204.432	57106.759	
W03	-172200.676	57094.314	

※ 座標は支柱中心、縦樋中心を表す。
基礎施工後は支柱部材の政策調整のためアンカーボルト位置を座標管理すること。

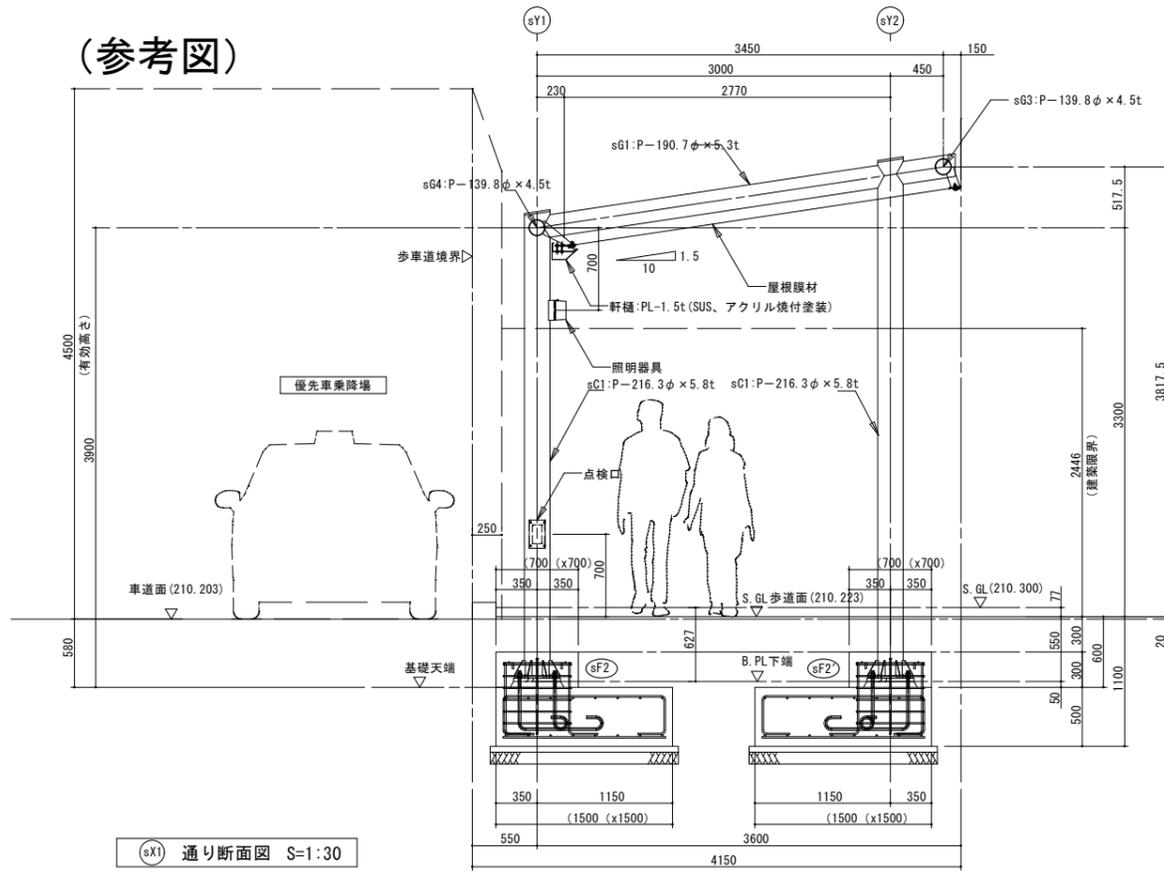
配置図 S=1:100

- * → 印は、水流れ方向を示す。
- * ● 印は、縦樋落とし位置を示す。
- * - - 印は、中間膜定着位置を示す。

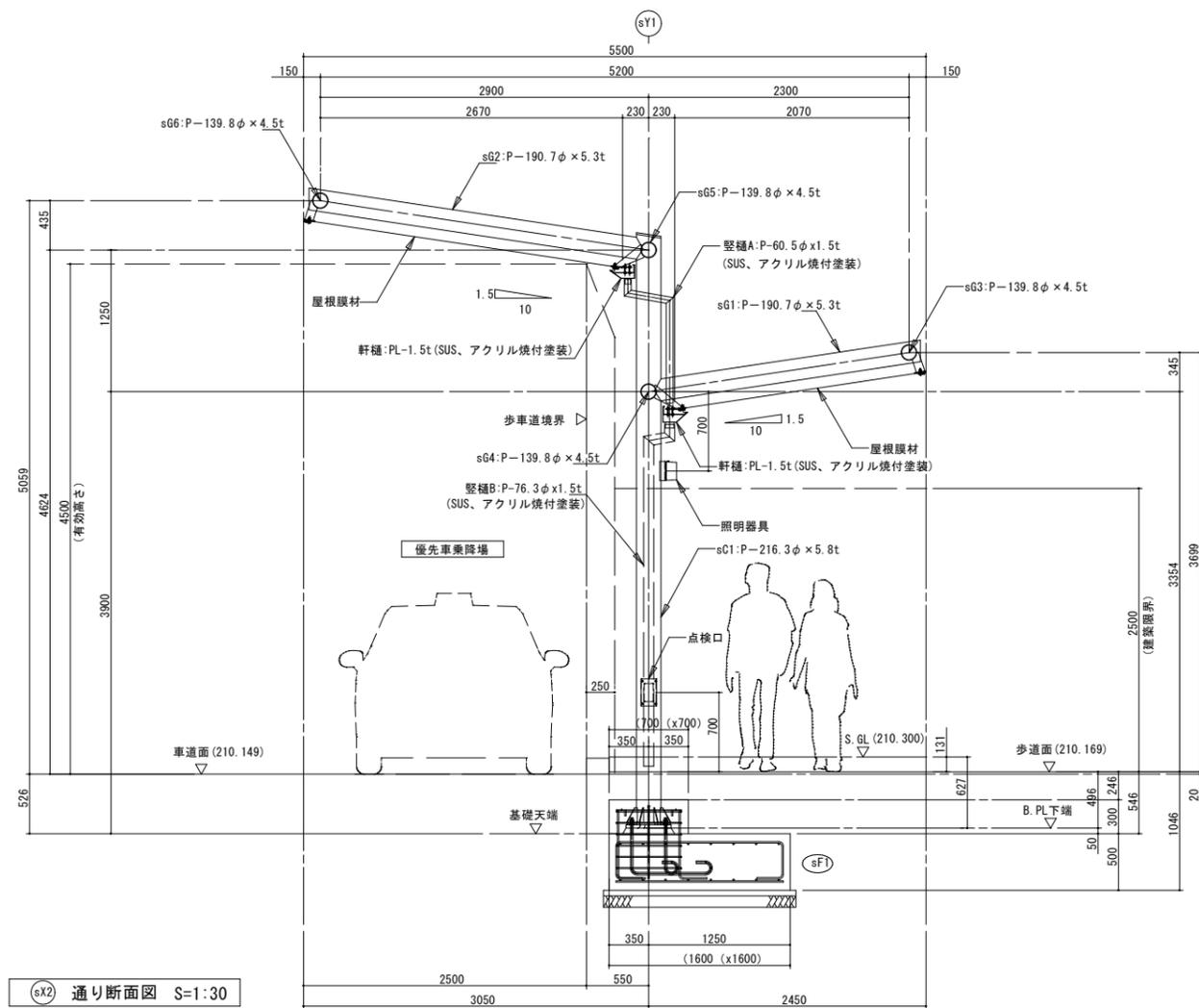
○ T-4-3
H=210.113

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事		
図面名	配置図 (南口駅前広場)		
作成年月日	令和 6年 5月		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント		
事業者名	東 広 島 市		

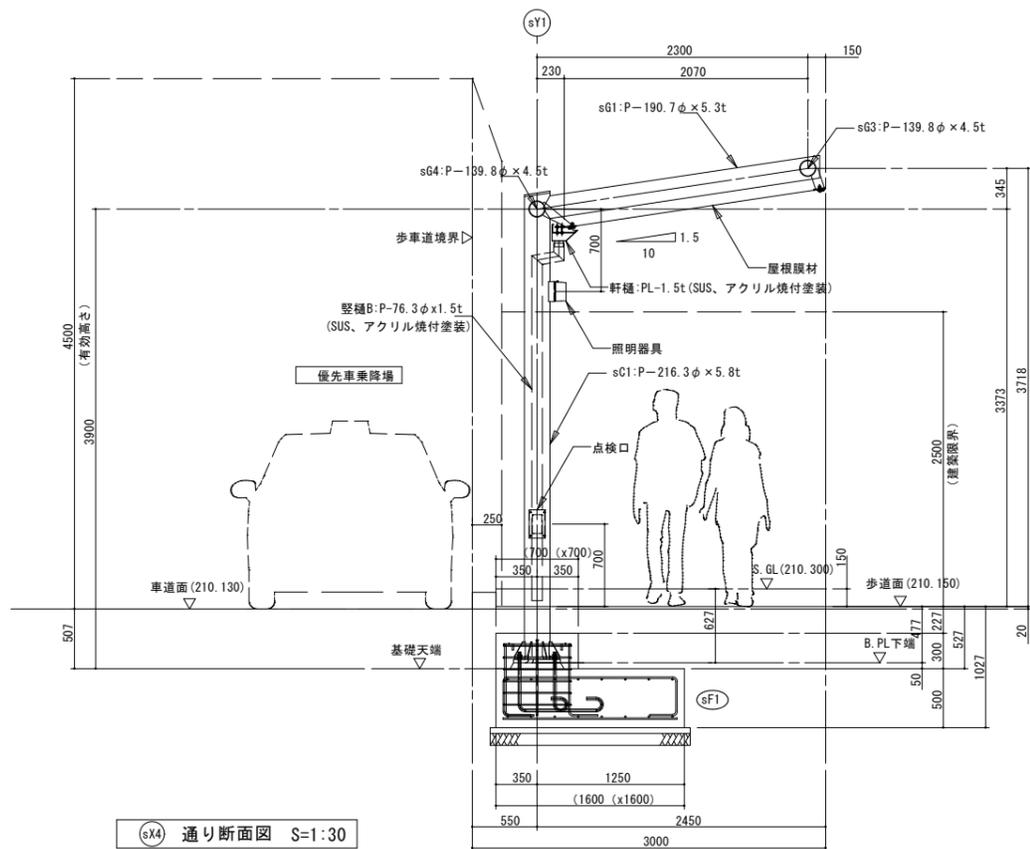
(参考図)



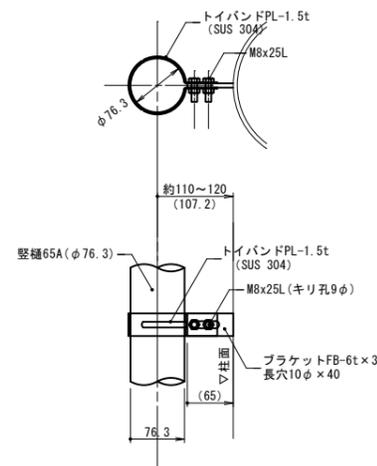
sX1 通り断面図 S=1:30



sX2 通り断面図 S=1:30



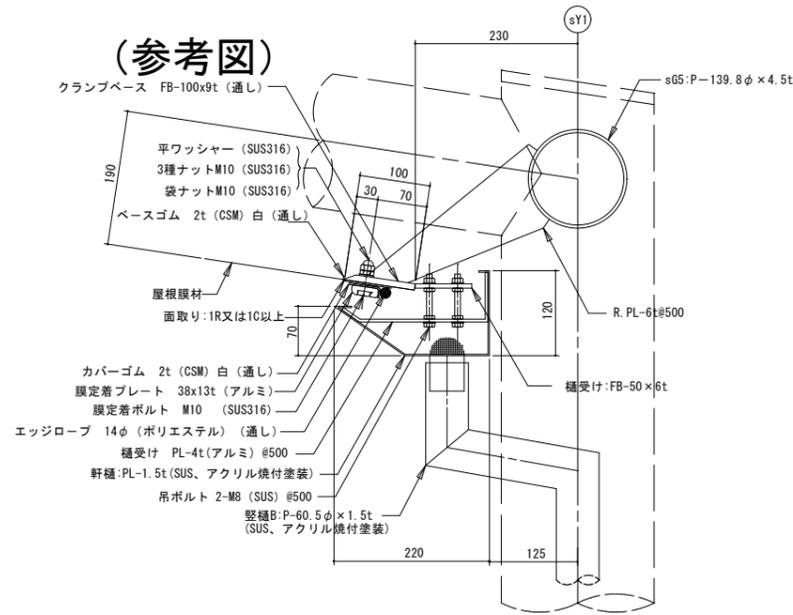
sX4 通り断面図 S=1:30



取付部詳細 S=1:5

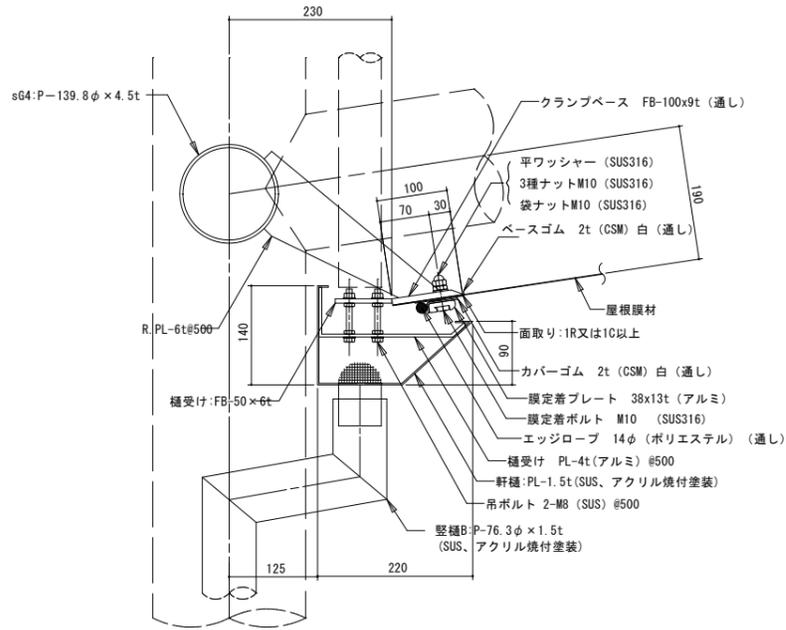
工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事
図面名	断面図 (南口駅前広場)
作成年月日	令和 6年 5月
縮尺	1:30 図面番号 4 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント
事業者名	東 広 島 市

(参考図)



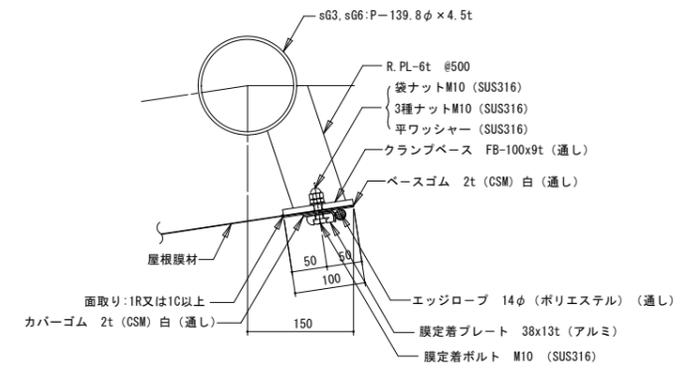
(a'-a' 断面)

水下膜定着部 詳細図 S=1:5 (上段屋根)



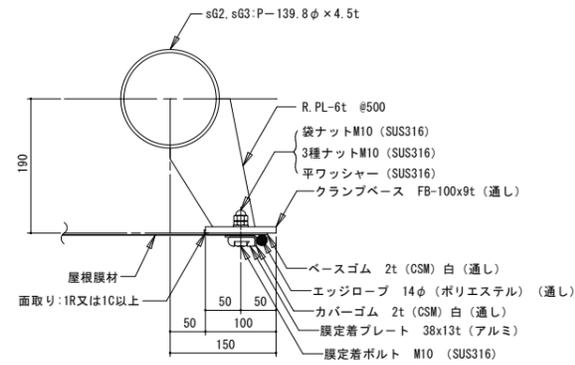
(a-a 断面)

水下膜定着部 詳細図 S=1:5 (下段屋根)



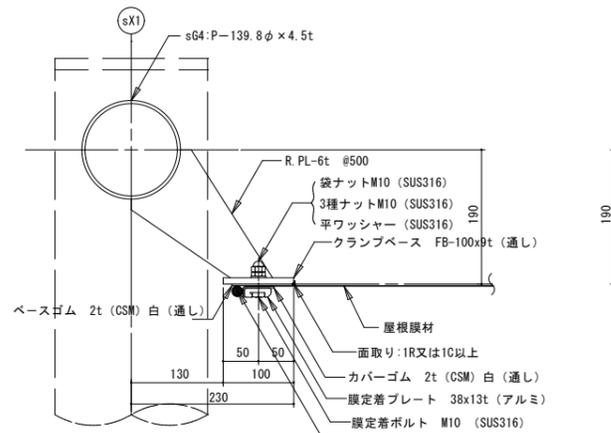
(b-b 断面)

水上膜定着部 詳細図 S=1:5



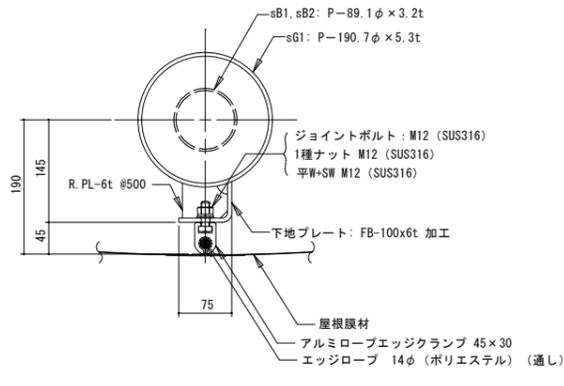
(c-c 断面)

妻側膜定着部 詳細図 S=1:5



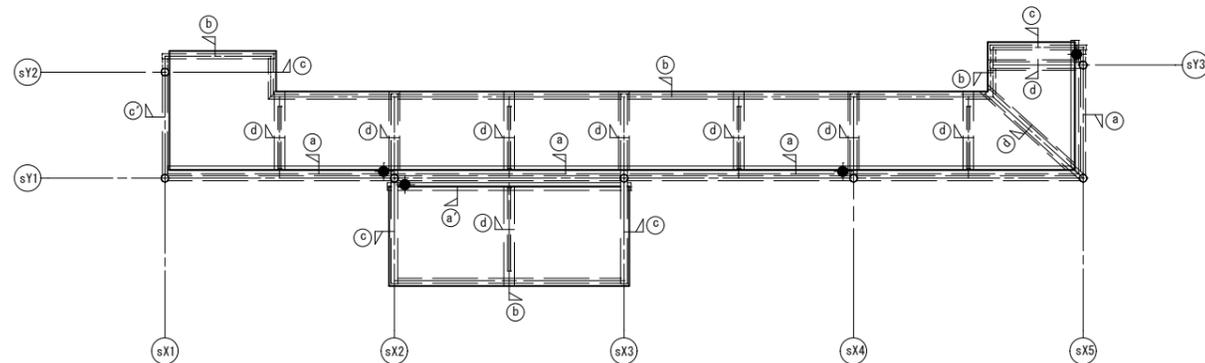
(c'-c' 断面)

妻側膜定着部 詳細図 S=1:5 (下段屋根)



(d-d 断面)

中間膜定着部 詳細図 S=1:5

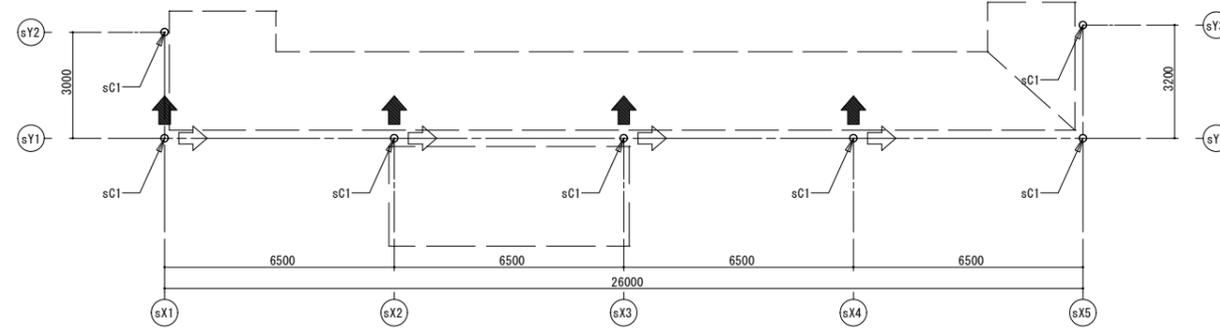


KEYPLAN

- * ● 印は、壁縫落とし位置を示す。
- * = = 印は、中間膜定着位置を示す。

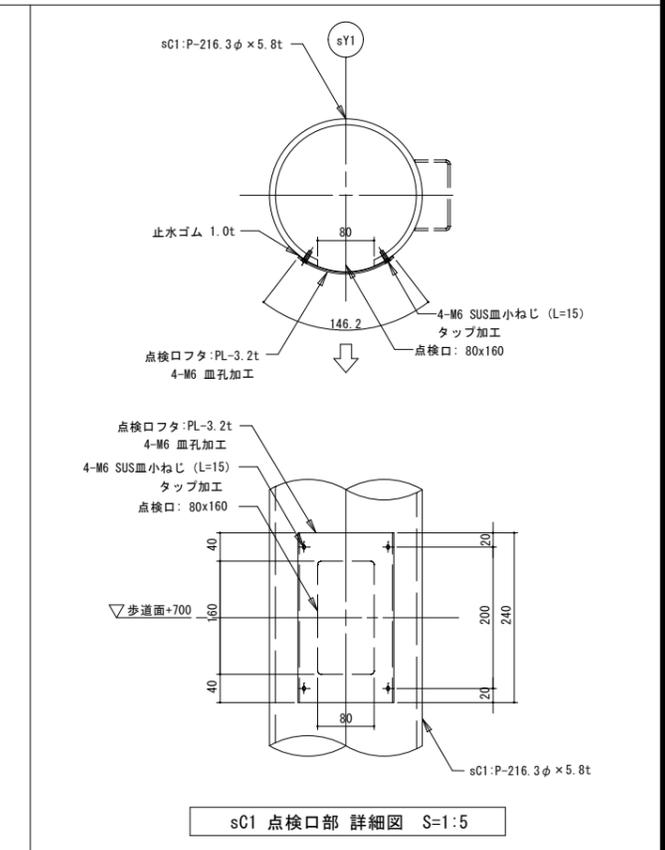
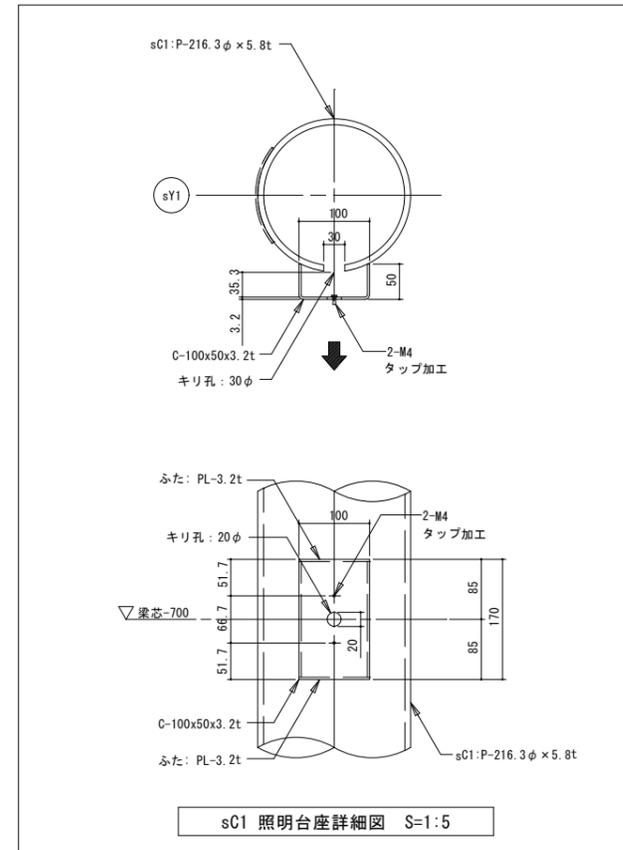
工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シールドトンネル整備工事
図面名	膜定着詳細図 (南口駅前広場)
作成年月日	令和 6年 5月
縮尺	1:5 図面番号 5 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント
事業者名	東 広 島 市

(参考図)



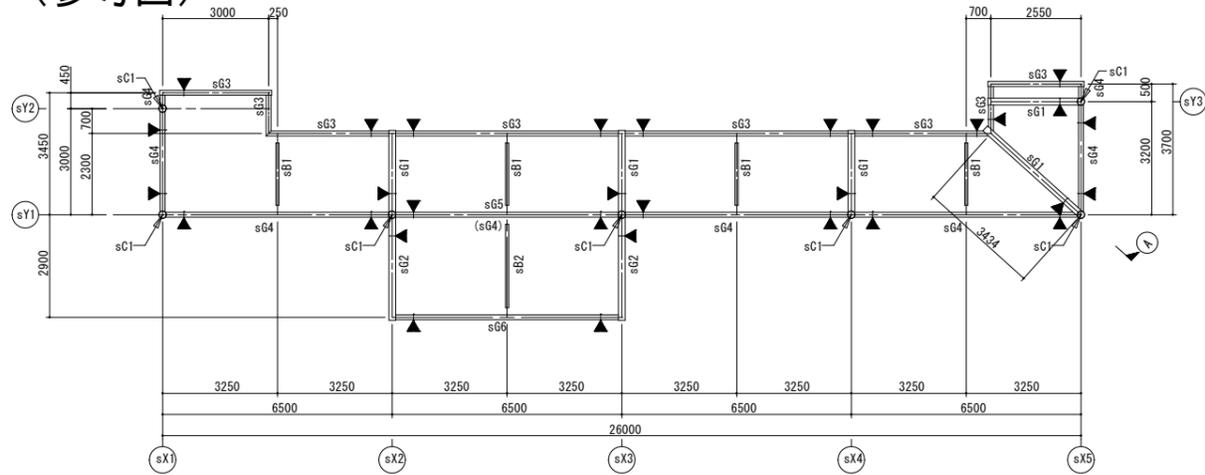
照明 配置図 S=1:100

- : 点検口向きを示す。
- : 照明器具向きを示す。



工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シールドターミナル整備工事		
図面名	照明台座詳細図、点検口詳細図 (南口駅前広場)		
作成年月日	令和 6年 5月		
縮尺	1:5 1:100	図面番号	6 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント		
事業者名	東 広 島 市		

(参考図)

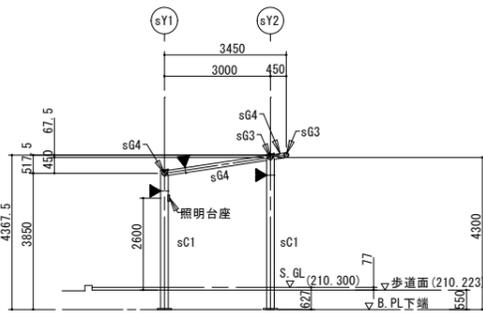


小屋伏図 S=1:100

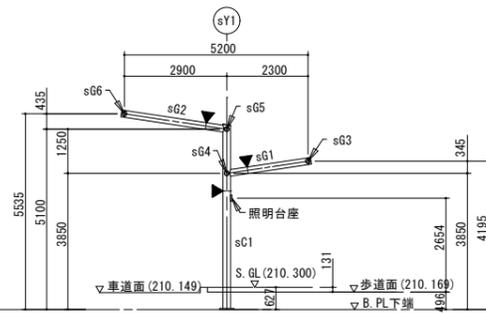
部材リスト

記号	部材	備考
sC1	P-216.3φ×5.8t	STK400
sG1	P-190.7φ×5.3t	STK400
sG2	P-190.7φ×5.3t	STK400
sG3	P-139.8φ×4.5t	STK400
sG4	P-139.8φ×4.5t	STK400
sG5	P-139.8φ×4.5t	STK400
sG6	P-139.8φ×4.5t	STK400
sB1	P-89.1φ×3.2t	STK400
sB2	P-89.1φ×3.2t	STK400
PL類		SS400

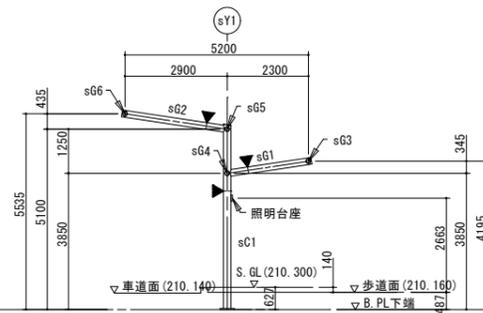
▶印は現場ジョイント位置を示す。
※現場ジョイント位置は製作時再検討とする。



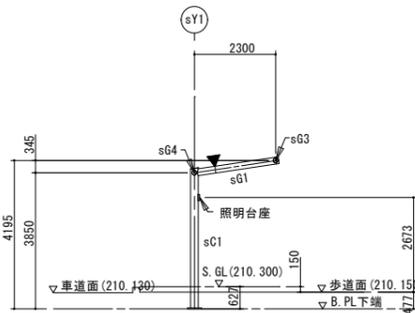
sX1 通り軸組図 S=1:100



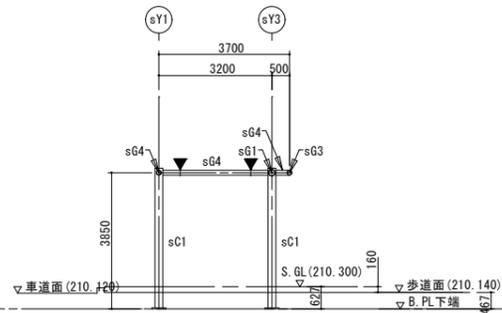
sX2 通り軸組図 S=1:100



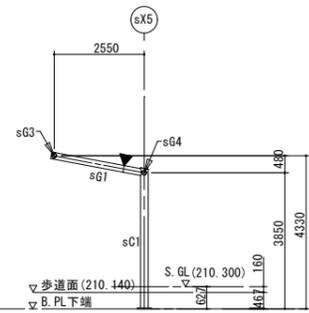
sX3 通り軸組図 S=1:100



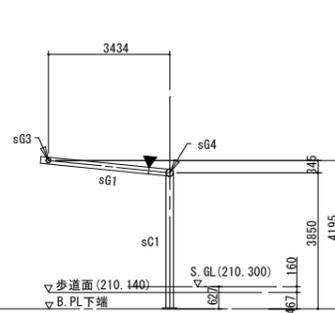
sX4 通り軸組図 S=1:100



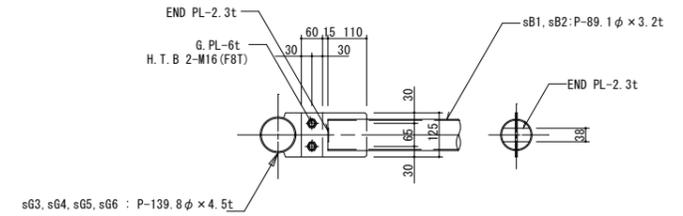
sX5 通り軸組図 S=1:100



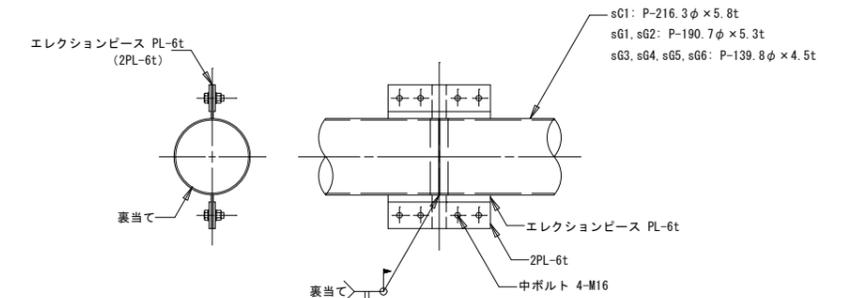
sX6 通り軸組図 S=1:100



A 矢視軸組図 S=1:100



sB1-sG3, sG4 取合い詳細図 S=1:10
sB2-sG5, sG6 取合い詳細図 S=1:10

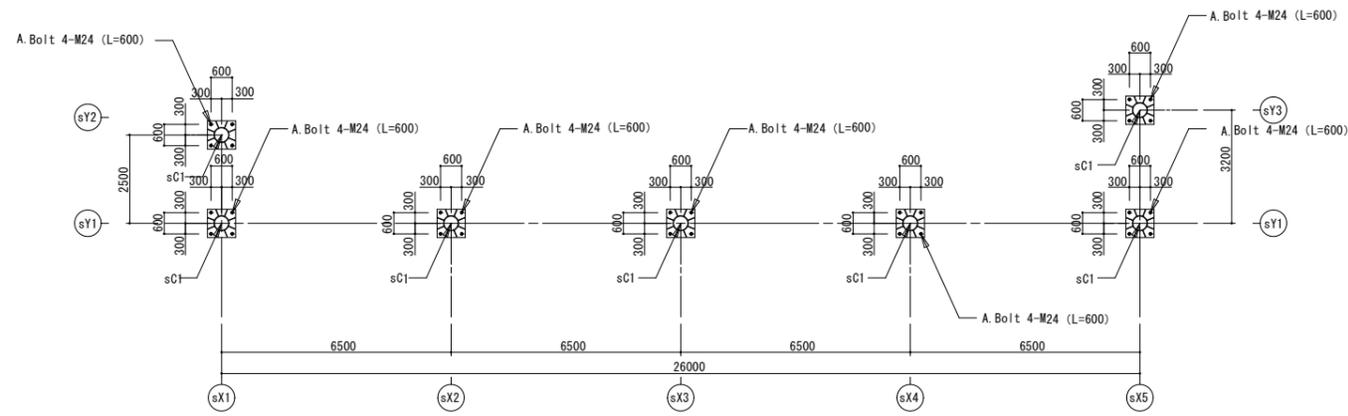


sC1, sG1, sG2, sG3, sG4, sG5, sG6 材
現場溶接部詳細図 S=1:10

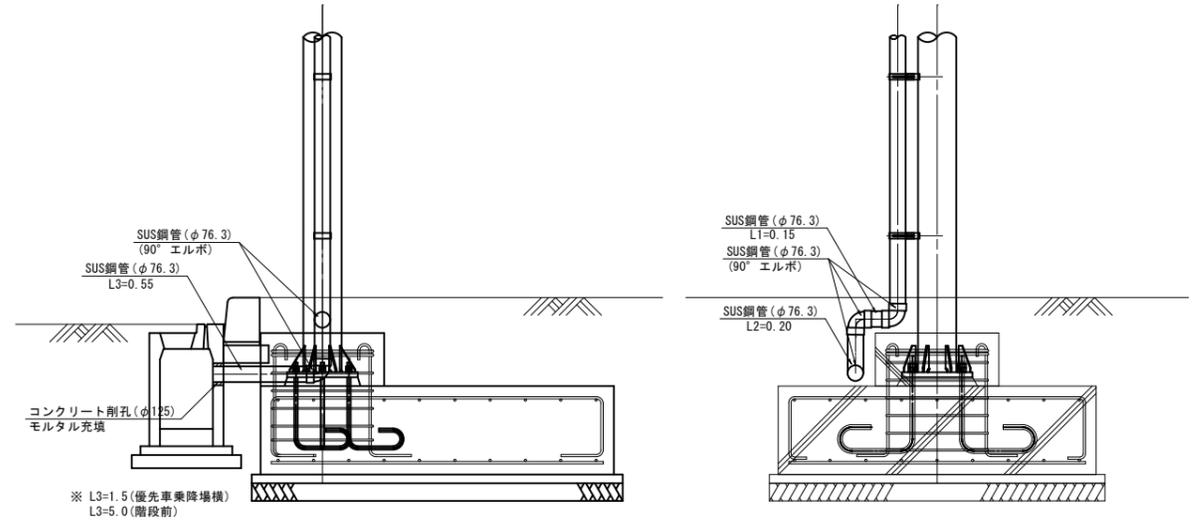
- ・ジョイント位置は製作時にトラック運搬 鉄骨建方等を考慮の上最終位置決定のこと。
- ・エレクションピースは鉄骨建て方計画に応じて枚数、配置を決定すること。
- ・エレクションピースは現場溶接完了後、5~10mm程度残してカットし、グラインダー仕上げのこと。

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事
図面名	小屋伏図、軸組図、鉄骨詳細図 (南口駅前広場)
作成年月日	令和 6年 5月
縮尺	1:10 1:100 図面番号 7 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント
事業者名	東 広 島 市

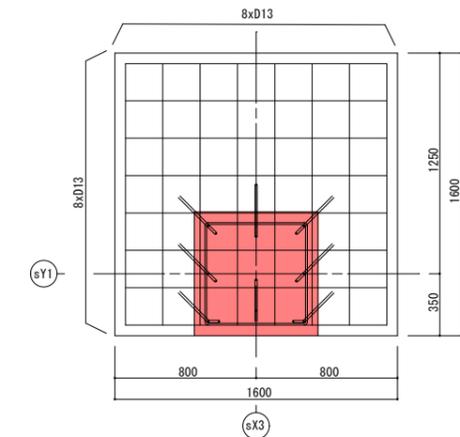
(参考図)



アンカープラン S=1:100(50)

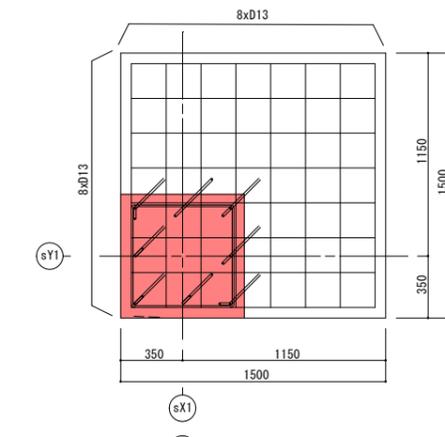


竪樋地中配管詳細図 S=1:20



sF1 基礎詳細図 S=1:20

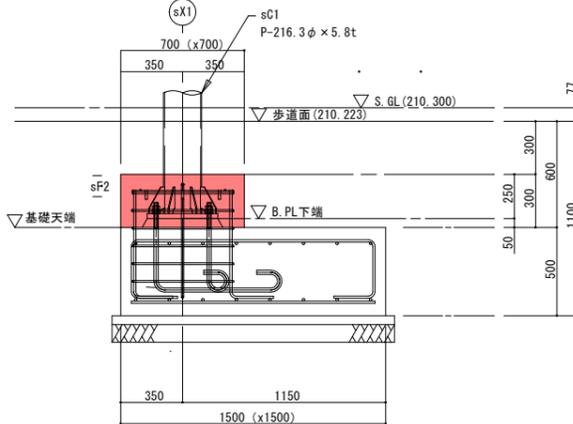
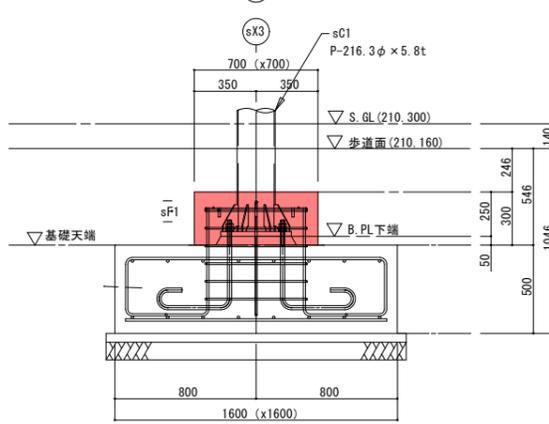
※ 必要地盤反力 (許容支持力) Q=35.0 (kN/m²)



sF2, sF2' 基礎詳細図 S=1:20

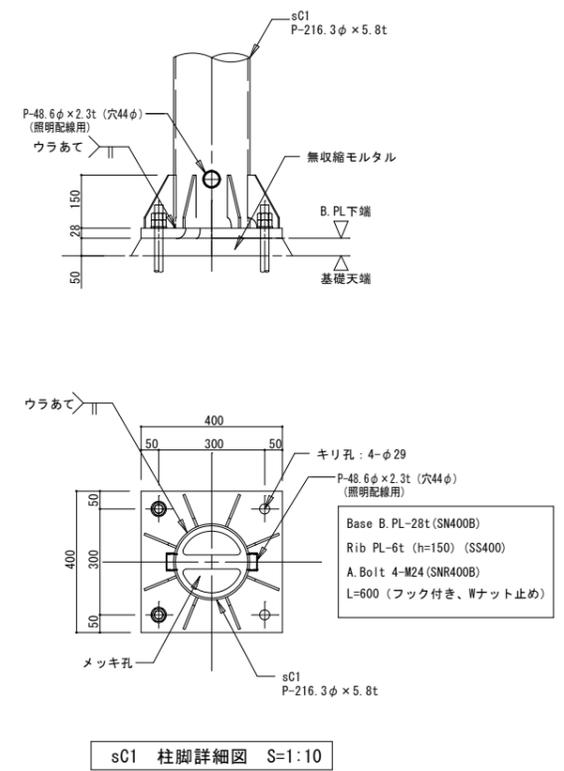
sF2' は 対称形状とする。

※ 必要地盤反力 (許容支持力) Q=35.0 (kN/m²)



sF1, sF2, sF2' 共通

主筋	8-D13
TOP筋	2-D13
フープ筋	D10#100
ハカマ筋	D13#200 (タテヨコ)
ベース筋	D13#200 (タテヨコ)

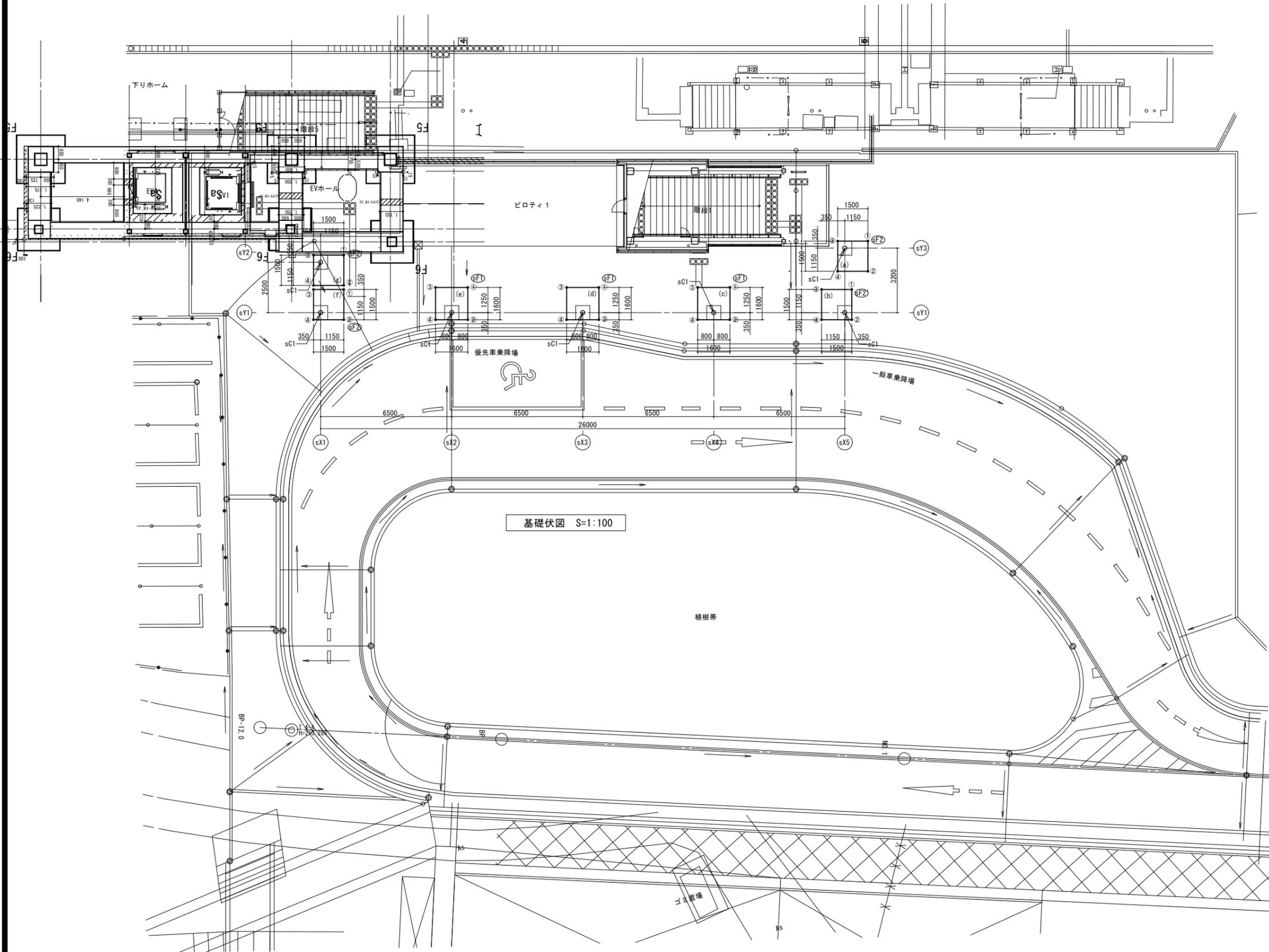


sC1 柱脚詳細図 S=1:10

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事
図面名	アンカープラン、柱脚詳細図 (南口駅前広場)
作成年月日	令和 6年 5月
縮尺	1:10 1:100 図面番号 8 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント
事業者名	東 広 島 市

南口

(参考図)



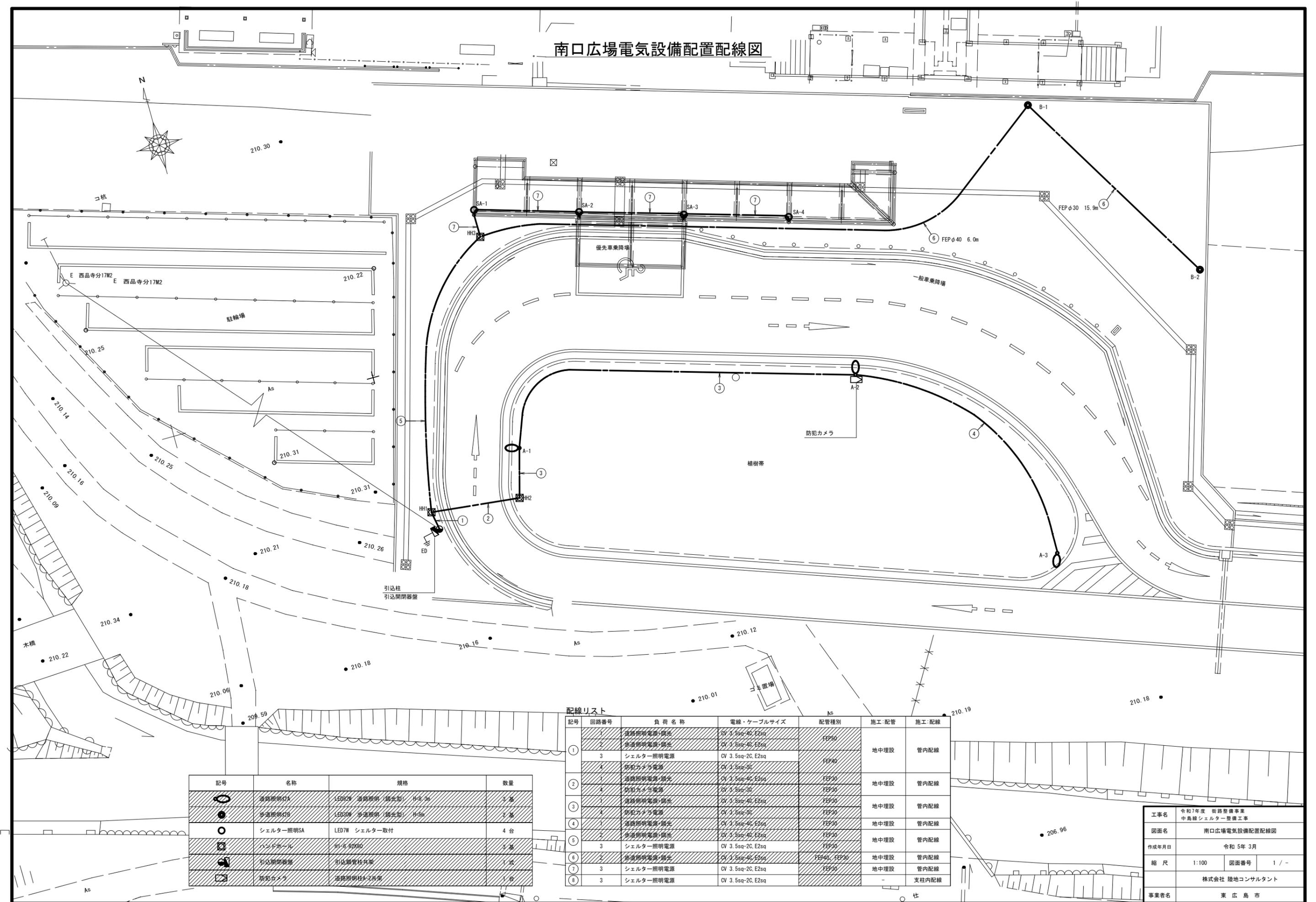
施工座標一覧表

	点名	X座標	Y座標	備考
(a)	①	-172203.312	57115.323	
	②	-172204.748	57114.889	
	③	-172202.878	57113.887	
	④	-172204.314	57113.453	
(b)	①	-172205.378	57113.863	
	②	-172206.814	57113.429	
	③	-172204.944	57112.427	
	④	-172206.380	57111.993	
(c)	①	-172203.532	57108.100	
	②	-172205.063	57107.637	
	③	-172203.069	57106.569	
	④	-172204.600	57106.106	
(d)	①	-172201.651	57101.878	
	②	-172203.183	57101.415	
	③	-172201.188	57100.347	
	④	-172202.720	57099.884	
(e)	①	-172199.770	57095.656	
	②	-172201.302	57095.194	
	③	-172199.307	57094.125	
	④	-172200.839	57093.662	
(f)	①	-172198.086	57089.741	
	②	-172199.522	57089.307	
	③	-172197.652	57088.305	
	④	-172199.088	57087.871	
(g)	①	-172196.459	57090.233	
	②	-172197.895	57089.799	
	③	-172196.025	57088.797	
	④	-172197.461	57088.363	

○ T.4-3
H=210.113

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シールドトンネル整備工事		
図面名	基礎伏図、基礎詳細図 (南口駅前広場)		
作成年月日	令和 6年 5月		
縮尺	1:20 1:100	図面番号	9 / 9
会社名	株式会社 陸地コンサルタント		
事業者名	東 広 島 市		

南口広場電気設備配置配線図



配線リスト

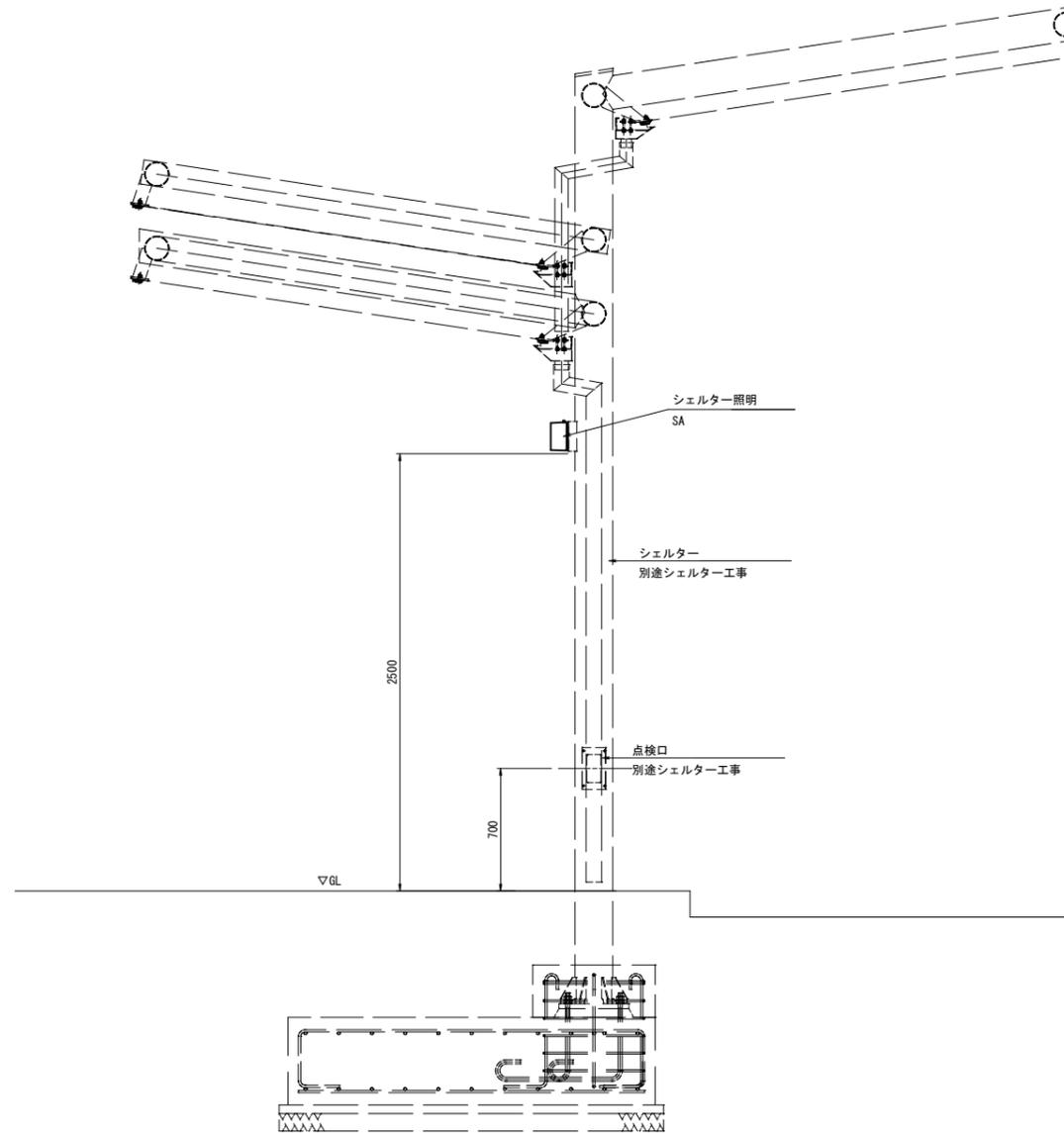
記号	回路番号	負荷名称	電線・ケーブルサイズ	配管種別	施工・配管	施工・配線
①	1	道路照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ40	地中埋設	管内配線
	2	歩道照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ40		
	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	FEPφ30		
	4	防犯カメラ電源	CV 3.5sq-3C	FEPφ30		
②	1	道路照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ30	地中埋設	管内配線
	2	防犯カメラ電源	CV 3.5sq-3C	FEPφ30		
③	1	道路照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ30	地中埋設	管内配線
	2	防犯カメラ電源	CV 3.5sq-3C	FEPφ30		
④	1	道路照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ30	地中埋設	管内配線
	2	歩道照明電源	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ30		
⑤	1	道路照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	FEPφ30	地中埋設	管内配線
	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	FEPφ30		
⑥	1	道路照明電源・橋光	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ40, FEPφ30	地中埋設	管内配線
	2	歩道照明電源	CV 3.5sq-4C, E2sq	FEPφ30		
⑦	1	道路照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	FEPφ30	地中埋設	管内配線
	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	FEPφ30		
⑧	1	道路照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	-	-	支柱内配線
	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C, E2sq	-		

記号	名称	規格	数量
○	道路照明灯A	LED92W 道路照明 (鏡光型) H=8.3m	3基
●	歩道照明灯B	LED30W 歩道照明 (鏡光型) H=5m	2基
○	シェルター照明SA	LED7W シェルター取付	4台
□	ハンドホール	HI-8 R2XR0	3基
⊕	引込閉閉器蓋	引込閉閉器柱共架	1基
⊗	防犯カメラ	道路照明柱A-2共架	1基

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事
図面名	南口広場電気設備配置配線図
作成年月日	令和 5年 3月
縮尺	1:100 図面番号 1 / -
事業者名	株式会社 陸地コンサルタント 東 広 島 市

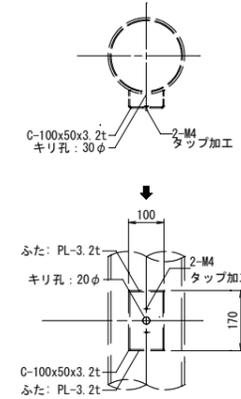
照明設備構造図(3)

シェルター照明取付位置図 S=1/20

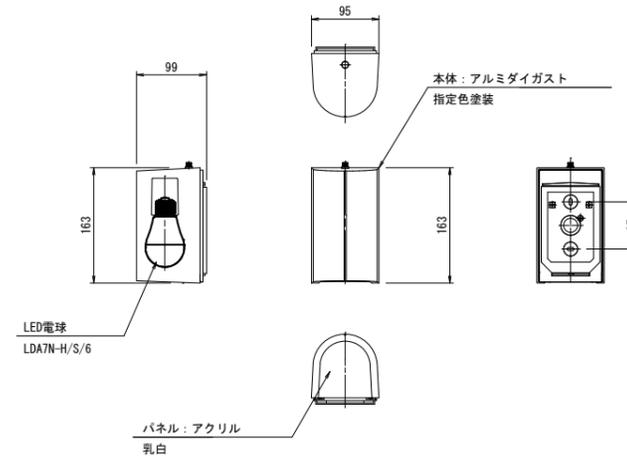


シェルター照明SA取付台詳細図 S=1/10

(別途シェルター工事)



シェルター照明SA詳細図 S=1/5



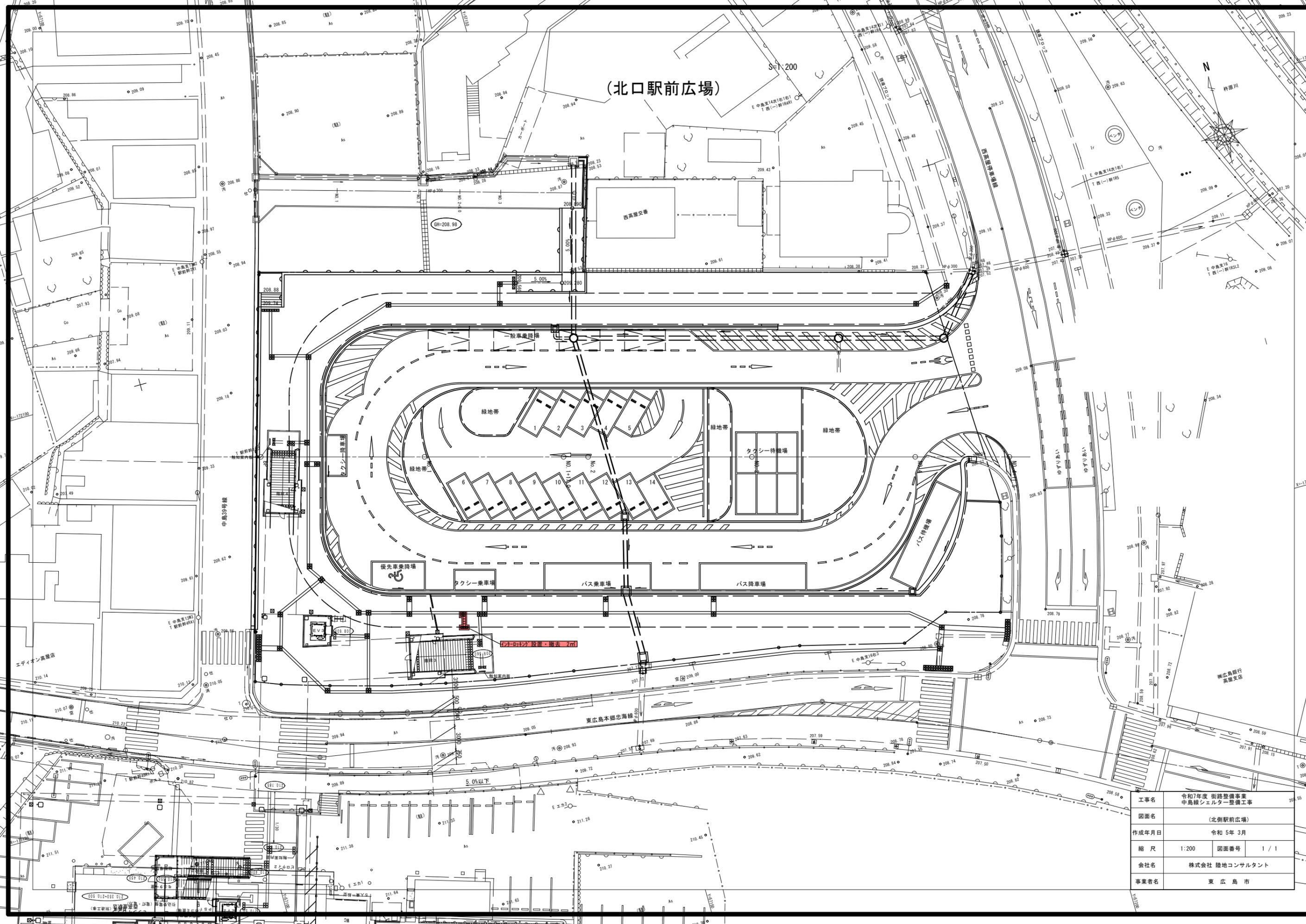
器具光束		153 lm		定格	
LED	昼白色 (5000K Ra80)	定格電圧	AC100V	入力電流	0.117A
ランプ光色は、監督員と協議の上、決定すること。		消費電力	7.0W		

工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事		
図面名	照明設備構造図		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	図示	図面番号	5 / -
会社名	株式会社 陸地コンサルタント		
事業者名	東 広 島 市		

(北口駅前広場)



工事名	令和7年度 街路整備事業 中島線シェルター整備工事		
図面名	(北側駅前広場)		
作成年月日	令和 5年 3月		
縮尺	1:200	図面番号	1 / 1
会社名	株式会社 陸地コンサルタント		
事業者名	東 広 島 市		



参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 街路整備事業
中島線シェルター整備工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をす
るものではありません。

3 その他

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時た
い積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	有限会社広剛産業福 富残土処分場 1	東広島市福富町上戸野 大井出 1460-1	12.5km

- ・当該工事により発生する Co 殻、As 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻(無筋)	(有)トラスト	西条町上三永 348-14	11.6 km
As 殻	(有)トラスト	西条町上三永 348-14	11.6 km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 44 東広島市 00-08.02.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
施設工					Y1E0106 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010601 レベル3
	1	式			
床掘り					Y1E01060102 レベル4
	9	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040015 00
	9	m3			単第0 -0001 表
埋戻し					Y1E01060103 レベル4
	4	m3			
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040020 00
	4	m3			単第0 -0002 表
土砂等運搬					Y1E01060111 レベル4
	4	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	4	m3			SPK25040002 00 単第0 -0003 表
残土等処分	4	m3			Y1E01060111レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 有限会社広剛産業福富残土処分場1	4	m3			F000000100 00
シェルター基礎工	1	式			Y1E010606 レベル3
コンクリート	1	m3			Y1E01060603レベル4
コンクリート 小型構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0004 表
型枠	6	m2			Y1E01060605レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	6	m2			SPK25040159 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
シェルター設置工					Y1E010607 レベル3
	1	式			
駅前シェルター					Y1E01060701 レベル4
	1	式			
シェルター組立設置費 現場塗装含む					F000000006 00
	1	式			
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044
シェルター 支柱、主梁、屋根材、ベースプレート、取付 工場塗装費含む					F000000005 00
	1	式			
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			
舗装版破碎					Y1E01120603 レベル4
	6	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
	6	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ブロック舗装撤去工					Y1E011212 レベル3
	1	式			
インターロッキングブロック撤去					Y1E01121201 レベル4
	21	m2			
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2未満					SS000117 00
	21	m2			単第0 -0007 表
運搬処理工					Y1E011216 レベル3
	1	式			
殻運搬 アス殻					Y1E01121601 レベル4
	0.2	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)					SPK25040155 00
	0.2	m3			単第0 -0008 表
殻運搬 コン殻					Y1E01121601 レベル4
	0.1	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)					SPK25040155 00
	0.1	m3			単第0 -0009 表
殻処分 アス殻					Y1E01121602 レベル4
	0.4	t			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻処分費 有限会社 トラスト					F000000300 00
	0.4	t			
殻処分 コン殻					Y1E01121602レベル4
	0.3	t			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 有限会社 トラスト					F000000200 00
	0.3	t			
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
表層(歩道部) 再生密粒度アスコン t=3cm					Y1E02040410レベル4
	6	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚30mm	6	m2			SPK25040247 00 単第0 -0010 表
ブロック舗装工	1	式			Y1E020416 レベル3
フィルター層 t=5cm	19	m2			Y1E02041001 レベル4
フィルター層 平均厚さ40mm以上60mm未満 再生砂	19	m2			SPK25040251 00 単第0 -0011 表
下層路盤(歩道部) t=10cm RC-30	19	m2			Y1E02041602 レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	19	m2			SPK25040236 00 単第0 -0012 表
インターロッキングブロック舗装 t=6cm インターロッキング 流用	19	m2			Y1E02041605 レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満	19	m2			SS000115 00 単第0 -0013 表
不織布 0.5mm ポリエステルシート ILB用シート	19	m2			F0000000004 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック舗装 t=6cm 視覚障害者誘導ブロック	1	m2			Y1E02041605レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満	1	m2			SS000115 00 単第0 -0014 表
インターロッキングブロック舗装 t=6cm 透水性インターロッキングブロック 150×300	1	m2			Y1E02041605レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満	1	m2			SS000115 00 単第0 -0015 表
仮設工	1	式			Y1E0215 レベル2
仮設足場工	1	式			Y1E021502 レベル3
足場工 枠組足場	190	掛m2			Y1E02150201レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	190	掛m2			S0380 00 単第0 -0016 表
交通管理工	1	式			Y1E021521 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1E02152101 レベル4
	30	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	30	人			
施設整備					Y1H03 レベル1
	1	式			
電気設備工					Y1H0304 レベル2
	1	式			
照明設備工					Y1H030401 レベル3
	1	式			
照明灯設置 SA 器具光束 153(lm)					Y1H03040107 レベル4
	4	基			
照明器具取付 ブラケット灯					V0000000003 00
	4	個			単第0 -0017 表
シェルター照明 SA 器具光束 153(ml)					F0000000009 00
	4	個			
電線管路工					Y1H030406 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
CVケーブル CV3.5sq-2C	65	m			Y1H03040602レベル4
CVケーブル CV3.5sq-2C	65	m			V0000000001 00 単第0 -0018 表
IV電線 IV 2.0sq	65	m			Y1H03040602レベル4
CVケーブル CV3.5sq-2C	65	m			V0000000001 00 単第0 -0018 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
資材運搬費	4	t			YZZ04001004レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
資材（膜）運搬 運搬距離 306km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0019 表
資材（鉄骨）運搬 運搬距離 22km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0023 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0002 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比:

87.15%

材料構成比:

3.98%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,063.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0003 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,431.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0004 表

小型構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,756.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0005 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,147.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0006 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 30.65%

労務構成比:

63.79%

材料構成比: 5.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

612.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN	21.16%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.78%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03%

SPK25040155

DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)

材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0008 表

1
標準単価:

m3 当り

7,775.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=47 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0009 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,106.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK25040247

単第0 -0010 表

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.74% 労務構成比: 25.65%

材料構成比: 71.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,306.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	2.18%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.43%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.68%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	71.16%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK25040247

単第0 -0010 表

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.74% 労務構成比: 25.65%

材料構成比: 71.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,306.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0025

フィルター層

平均厚さ40mm以上60mm未満

機械構成比: 5.74%

労務構成比:

再生砂

84.27%

SPK25040251

材料構成比:

9.99%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0011 表

標準単価: 1

m2 当り

990.13000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.11/平積0.09m3	3.55%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.11/平積0.09m3		MTPC00170 MTPT00170
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	24.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	23.80%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	21.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砂	8.05%		再生砂		TTPC00011 TTPT00011

施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK25040236

単第0 -0012 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.00% 労務構成比:

75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK25040236

単第0 -0012 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.00%

労務構成比:

75.15%

材料構成比:

19.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

インターロッキングブロック工(設置)
直線配置

SS000115
ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満

単第0 -0013 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【材工共】 直線配置 厚6cm	1.000	m2			
標準ブロック 厚60mm	-1.020	m2			控除用
インターロッキングブロック 撤去品流用	1.020	m2			
再生砂	0.039	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 直線配置 C=2 特殊品 E=2 再生砂			B=1 ブロック厚6cm D=1 【F】特殊品材料単価(m2) H=0.03 敷材料の厚さ(m)		
I=2 [規]100m2未満 L=1 -			K=1 -		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
手摺先行型枠組足場

S0380

単第0 -0016 表

100 掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=1	安全ネットを設置しない	

基礎コンクリート計算集計表

種 別	単位				コンクリート			型枠			コン殻処分	
		縦	横	高さ	単位	式	計	単位	式	計	単位	
施設工												
シェルター sX1 sY1	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX1 sY2	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX2 sY1	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX3 sY1	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX4 sY1	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX5 sY1	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
sX5 sY3	m	0.7	0.7	0.300	m ³	0.7×0.7×0.3	0.147	m ²	0.7×0.3×4	0.84		
合 計					m ³		1.0	m ²		5.9		

構造物撤去計算集計表

種 別	インターロッキング撤去				インターロッキング再設置			インターロッキング設置				
	縦	横	単位	面積	単位	式	計	単位	種類	計		
施設工												
シェルター	sX1	sY1	m ²	2.890	m ³	0.7×0.3×4	2.89					
	sX1	sY2	m ²	2.890	m ³	0.7×0.3×4	2.89					
	sX2	sY1	m ²	2.380	m ³	0.7×0.3×4	2.38					
	sX3	sY1	m ²	2.380	m ³	0.7×0.3×4	2.38					
	sX4	sY1	m ²	2.890	m ³	0.7×0.3×4	2.89					
	sX5	sY1	m ²	2.890	m ³	0.7×0.3×4	2.89					
	sX5	sY3	m ²	2.890	m ³	0.7×0.3×4	2.89					
北口駅前広場			m ²	2.000				m ²	視覚障害者誘導ブロック	1.00	m ³	0.1
								m ²	透水性ブロック 150×300	1.00		
支柱部分											m ³	0.02
合 計			m ³	21.210	m ³		19.2	m ³		2.0		0.14

試掘工集計算表

種 別	単位			床 掘		埋 戻		表層工(t=3cm)				
		歩道面から基礎天	土工面積	単位	計	単位	計	式	計	単位	数量	計
施設工												
シェルター	sX1 sY1	0.55	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX1 sY2	0.55	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX2 sY1	0.496	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX3 sY1	0.487	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX4 sY1	0.467	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX5 sY1	0.467	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
	sX5 sY3	0.467	0.160	m ³	0.1	m ³	0.1	0.9×0.9	0.8			
インターロッキング厚み控除	t=6cm	0.06	1.120	m ³	-0.1							
仮舗装厚控除		0.03	1.120			m ³	0.0					
合 計				m ³	0.5	m ³	0.5		5.7			

【材料設置工】数量表

設備名	場所(局名)	施工	項目	名称	規格	数量	単位	備考	
照明設備設計	南口広場	据付	照明設備設計						
					シェルター照明SA	LED昼白色 153lm	4	台	SA型

【アイソメ図①】

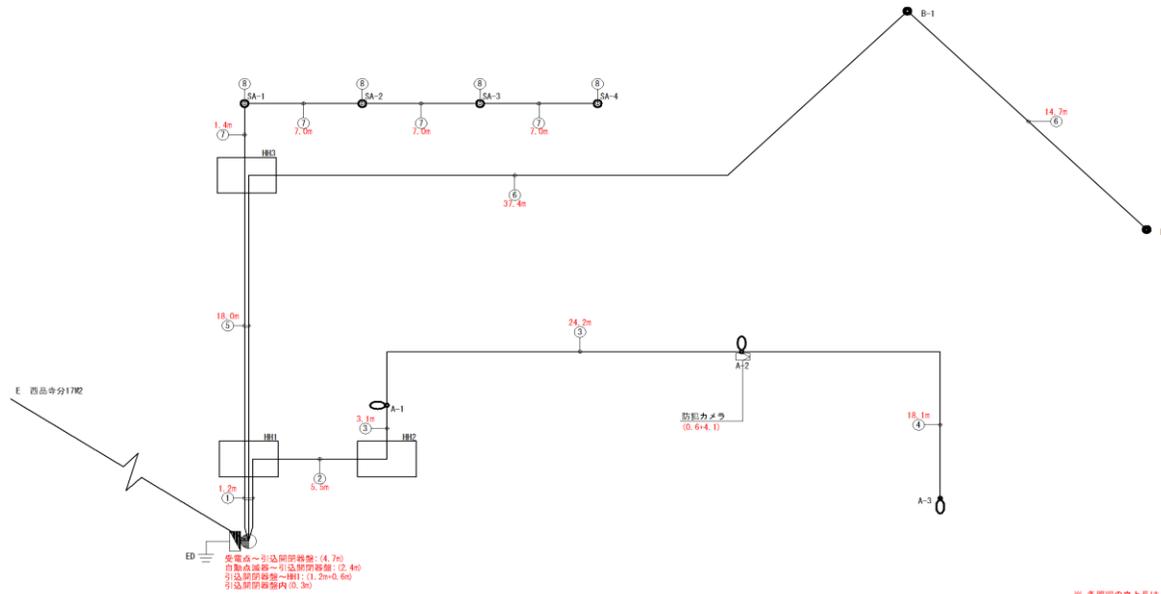
工 種：配管配線工

設備名：照明設備設計

設置場所：南口広場

作業：設置

南口広場電気設備配線系統図



配線リスト

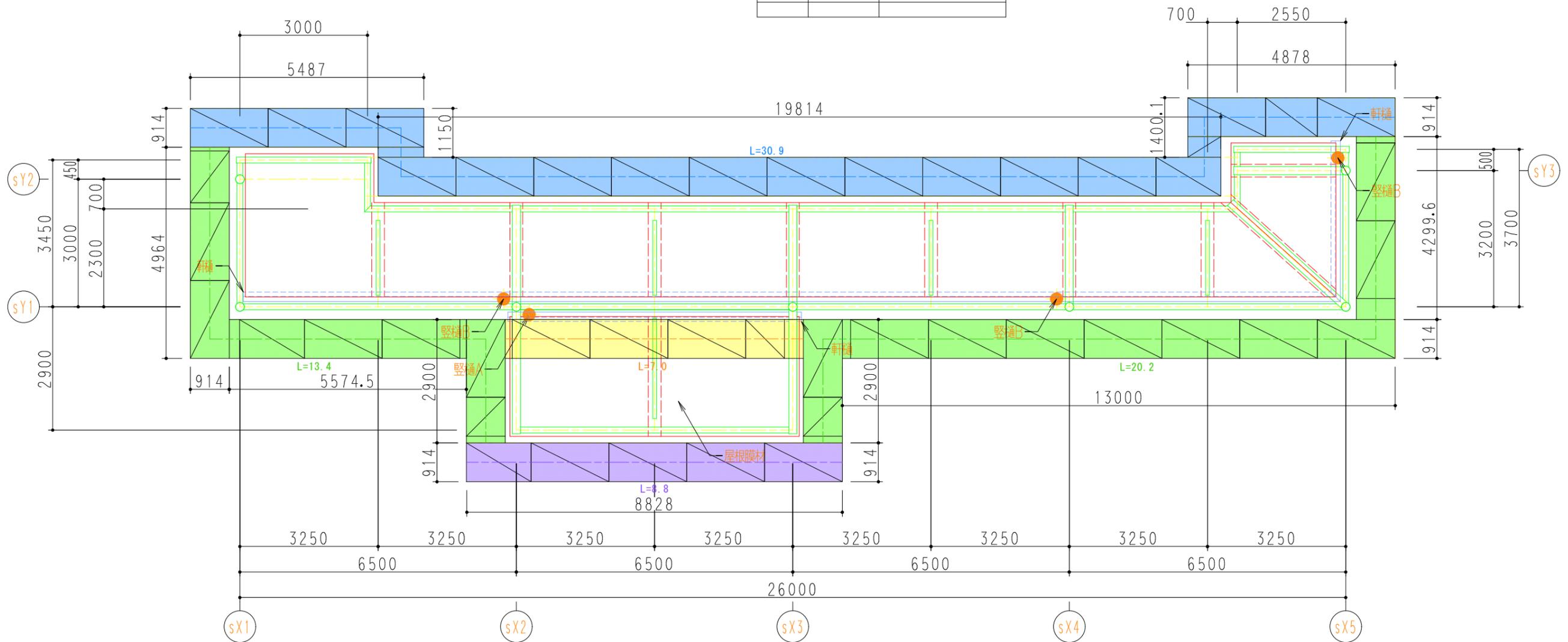
記号	回路番号	負 荷 名 称	電線・ケーブルサイズ	配管種別	施工：配管	施工：配線			
①	1	道路照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq	FEP50	地中埋設	管内配線			
	2	歩道照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq	FEP50					
	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C-E2sq	FEP40					
	4	防犯カメラ電源	CV 3.5sq-3C	FEP40					
②	1	道路照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq	FEP30	地中埋設	管内配線			
	4	防犯カメラ電源	CV 3.5sq-3C	FEP30					
	④	1	道路照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq			FEP30	地中埋設	管内配線
	⑤	2	歩道照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq			FEP30		
⑥	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C-E2sq	FEP30					
⑦	②	歩道照明電源・透光	CV 3.5sq-4C-E2sq	FEP30	地中埋設	管内配線			
	③	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C-E2sq	FEP30					
	④	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C-E2sq			FEP30		
⑧	3	シェルター照明電源	CV 3.5sq-2C-E2sq	-	-	支柱内配線			

記号	名称	規格	数量
○	道路照明灯A	LED92W 道路照明 (鏡光型) H=10m	3 基
○	歩道照明灯B	LED30W 歩道照明 (鏡光型) H=5m	2 基
●	シェルター照明SA	LED7W シェルター取付	4 台
□	ハンドヘル	HI-6 R2K60	3 基
⊖	引込開閉器盤	引込開閉器柱A-2共架	1 式
☐	防犯カメラ	道路照明柱A-2共架	1 台

工事名	令和3年度 交通制新成電管事業作中 西高屋敷地区駅前広場電気設備配線系統図
図面名	南口広場電気設備配線系統図
作成年月日	令和 5年 3月
縮 尺	NON 図面番号 2 / -
資 料 名	株式会社 陸地コンサルタント
事業名	東 広 島 市

②足場計画平面図

色別	種別	適要
緑	H=1752	L=13.4+20.2=33.6
青	H=1752+939	L=30.9
黄	H=1752+1244	L=7.0
紫	H=1752×2	L=8.8



日付	記号	訂正者	検印者	受領印	検印者	設計者	監印者	工事名称	JR西高屋駅 通路屋根(南口)
								図面内容	仮設工事
								設計番号	
								縮尺	
								作成年月日	年 月 日